

## 9 - 1 九州南部の地震活動 (1995 年 5 月 ~ 10 月)

### Seismic Activity in the Southern Kyushu District (May-October, 1995)

鹿児島大学 理学部

Faculty of Science, Kagoshima University

第 1 図に 1995 年 5 月 ~ 7 月, 第 2 図に 8 月 ~ 10 月の震央分布を示す。1995 年 5 月 ~ 7 月の期間では 6 月の地震活動がやや活発で, 甑島西方沖と日向灘沿岸で M 4 を越える地震が発生した。また, 薩摩半島南部の山川町付近では小規模の群発地震が発生した。8 月 ~ 10 月の期間は比較的静穏で, 10 月に発生した稍深発地震 (M4.1) が目立つ程度であった。なお, 奄美大島近海では 10 月 18 日の M6.7 の地震ほか, 非常に活発であった。

鹿児島県北部から阿久根沖を経て甑島西方沖に 4 ヶ所の地震活動が集中した場所が認められる (第 1 図, 第 2 図)。この領域の時空間分布を第 3 図に示す。西端は, 6 月 18 日の M4.2 を本震とする前震 - 本震 - 余震型の活動である。第 4 図に本震の発震機構解を示す。第 3 図の西から 2 番目の活動は, 5 - 8 月に少々活発化したものである。東から 2 番目の阿久根沖は, 以前から時々活動していたが, 3 月 6 日の M4.3 の地震<sup>1)</sup>以降は定常的に活動している。(鹿児島大学の検知能力は 3 月 3 日から向上したが, その影響ではない)。東端は, 1994 年 2 月 13 日の鹿児島県北部地震 (M5.7) の余震域の活動である。第 5 図に地震数の時間変化を示す。この領域では本震発生前まではほとんど地震活動は見られなかったが<sup>2)</sup>, 本震発生後は余震活動が長期化しており, 最近約 1 年間はほぼ一定の活動状態である。

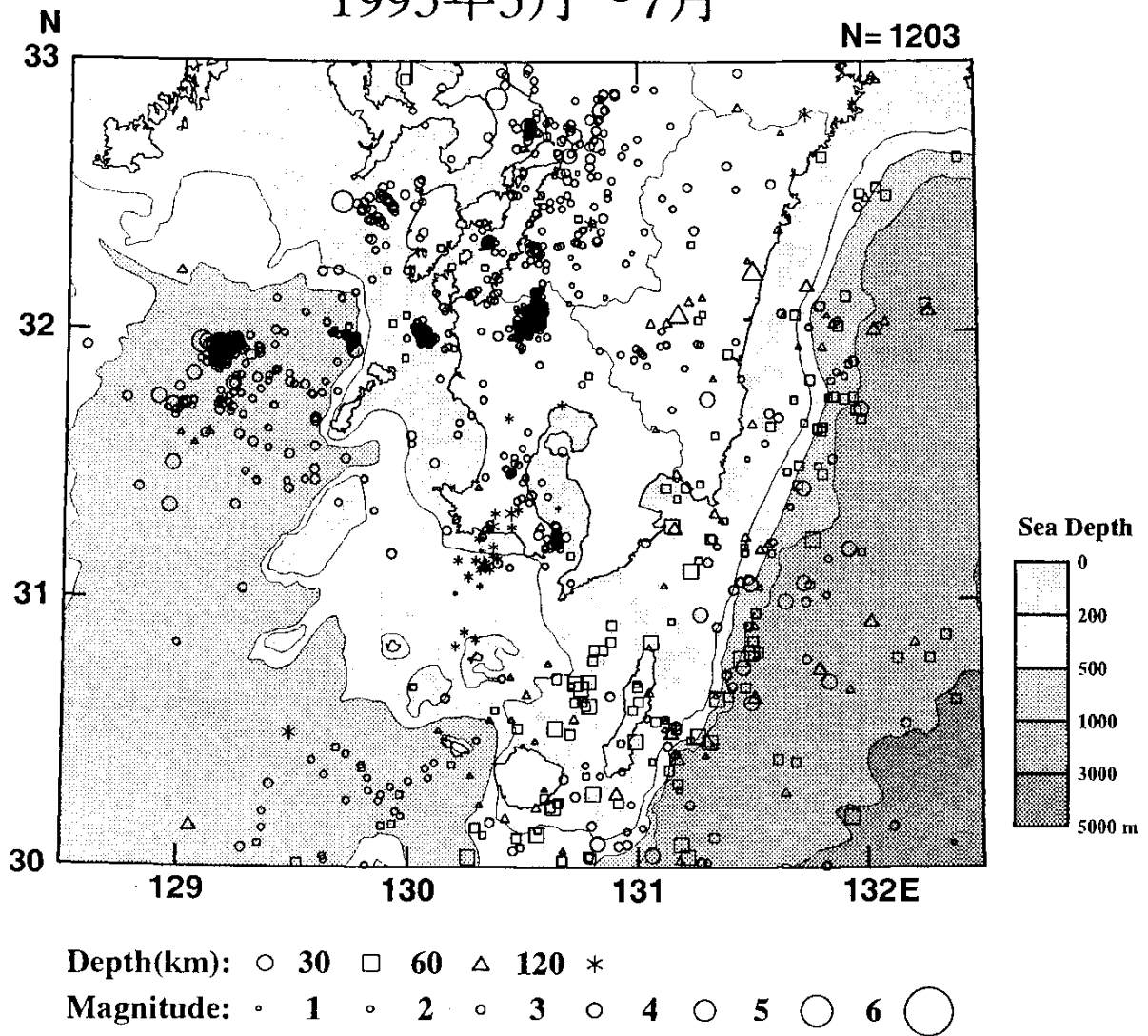
薩摩半島南方沖では, 稍深発地震活動がやや低くなる深さ 125 km で 10 月 31 日に M4.1 の地震が発生した。第 6 図に発震機構解を示す。

なお, 1995 年 6 月から九州大学との隣接間データ交換 (ITK および USB 観測点) が始まり, 九州南部域の震源決定能力が高くなった。

#### 参 考 文 献

- 1) 鹿児島大学理学部: 九州南部の地震活動 (1994 年 11 月 ~ 1995 年 4 月), 連絡会報, 53 (1995), 583-587.
- 2) 鹿児島大学理学部・九州大学理学部: 1994 年鹿児島県北部地震について, 連絡会報, 52 (1994), 473-478.

1995年5月~7月

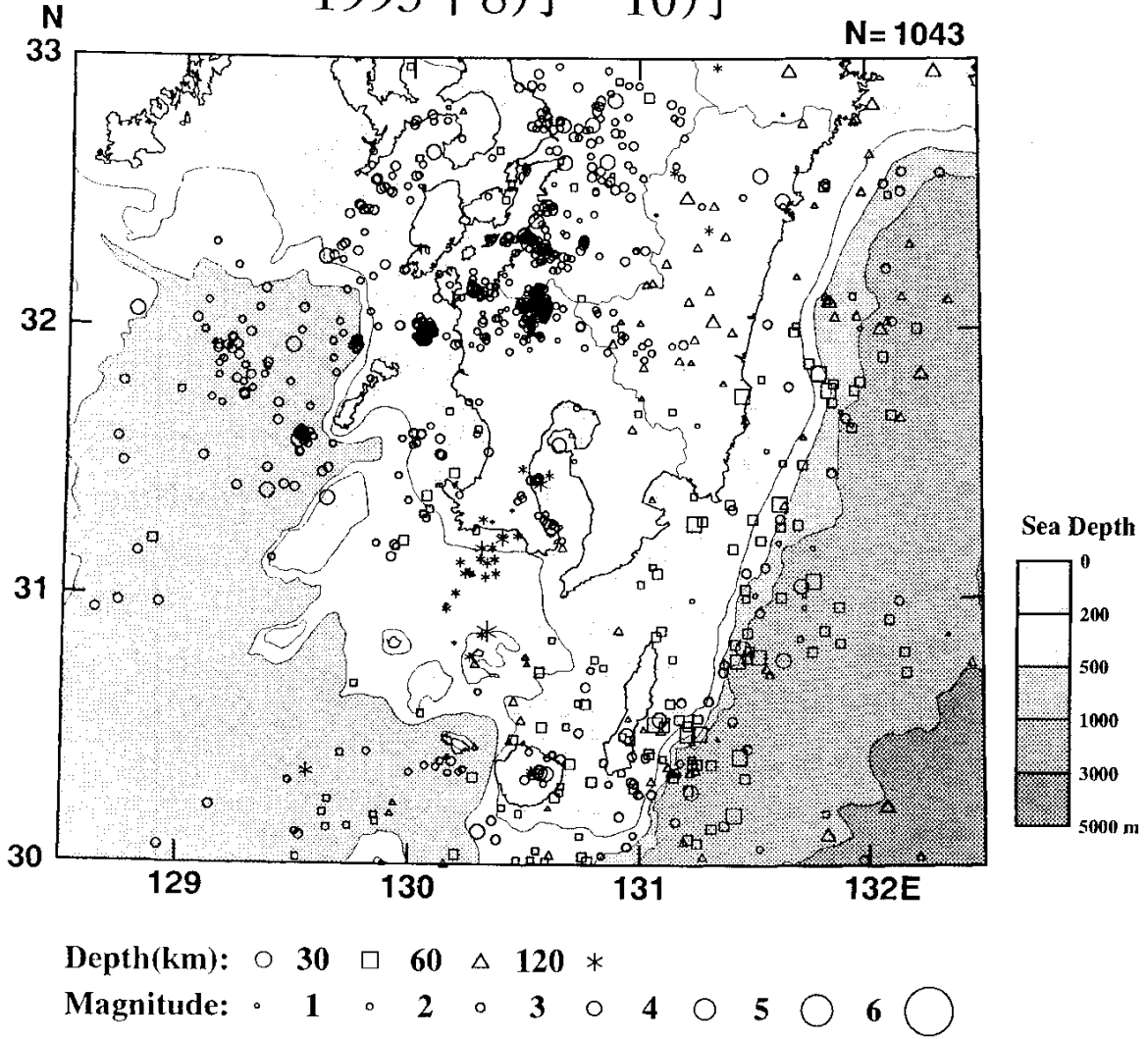


第1図 震央分布 (1995年5月~7月)

Fig. 1 Epicenter distribution (May-July, 1995).

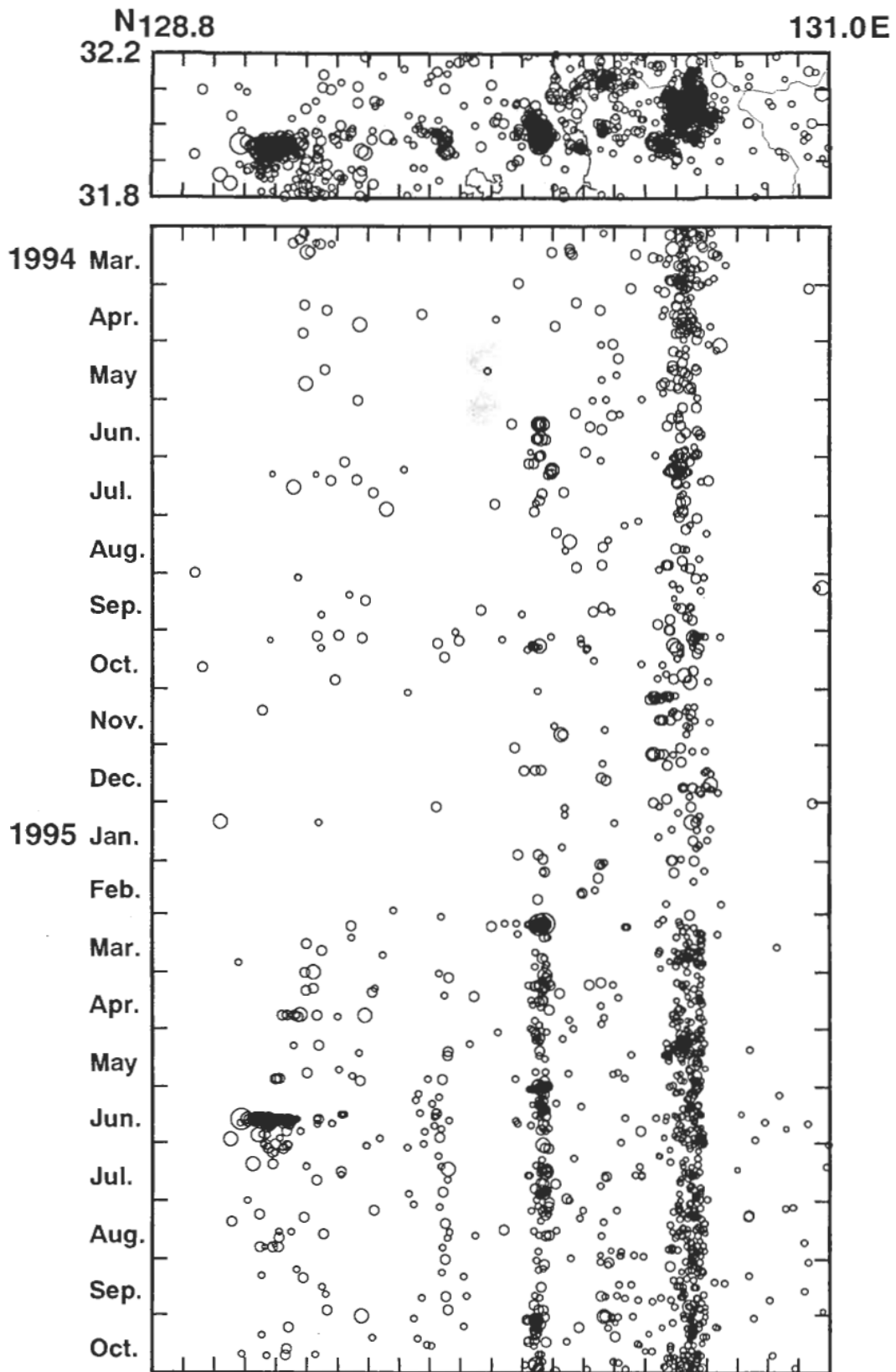
1995年8月~10月

N= 1043



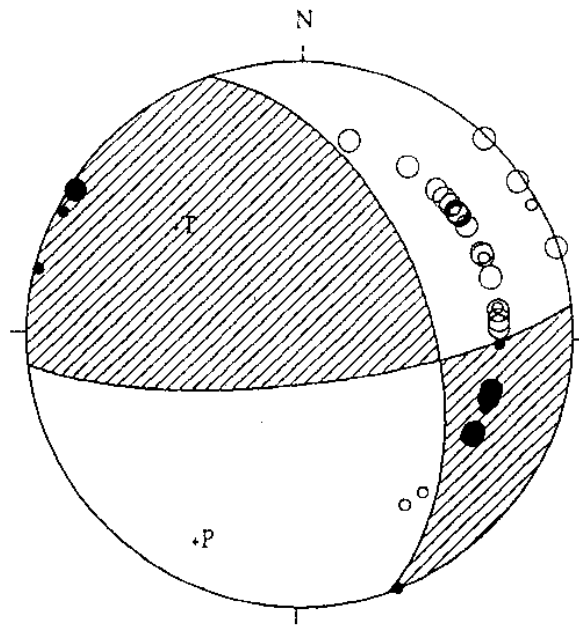
第2図 震央分布 (1995年8月~10月)

Fig. 2 Epicenter distribution (August-October, 1995).



第3図 鹿児島県北部から甑島西方沖の領域の地震活動の時空間分 (1994年3月~1995年10月)  
 Fig. 3 Space - time distribution of earthquakes in northern Kagoshima Prefecture-off the west coast of Koshikijima (March, 1994-October, 1995).

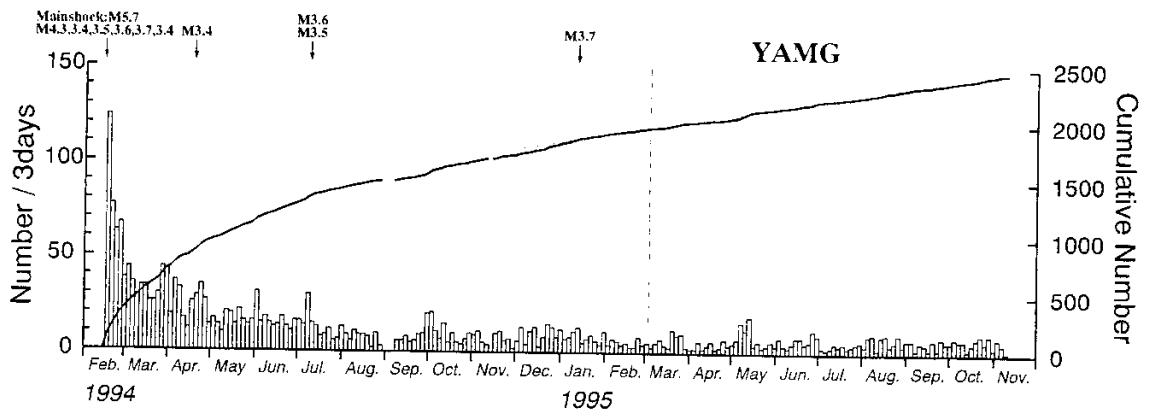
1995/6/18 10:11 M4.2



第4図 1995年6月18日10時11分の甑島西方の地震 (M4.2) の発震機構。下半球等積投影。

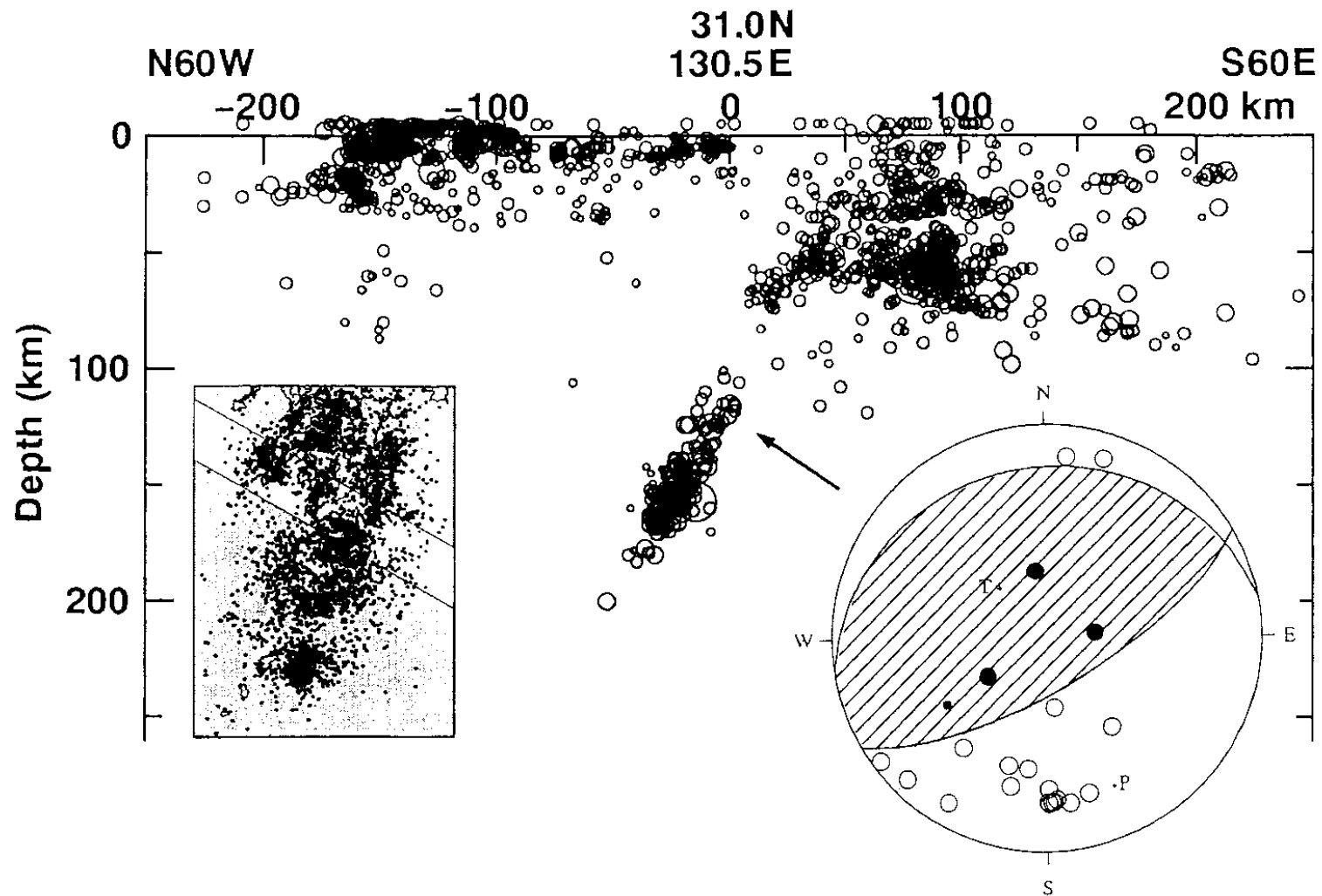
● : 押し, ○ : 引き。気象庁・九州大学・鹿児島大学のデータを使用した。

Fig. 4 Focal mechanism solution of the earthquake (M4. 2) off the west coast of Koshikijima. Equal area projection on the lower hemisphere (● : up, ○ : down).



第5図 1994年鹿児島県北部地震の3日毎および累計余震数

Fig. 5 Number/3days and cumulative number of aftershocks of 1994 northern Kagoshima-Prefecture earthquake.



第6図 1995年10月31日薩摩半島南方沖の稍深発地震 (M4.1, H=125km) の発震機構。

下半球等積投影。●：押し，○：引き。九州大学・鹿児島大学のデータを使用した。

Fig. 6 Focal mechanism solution of the intermediate-depth earthquake (M4.1, h = 125km) off the south coast of Satsuma-peninsula.

Equal area projection on the lower hemisphere (● : up, ○ : down).